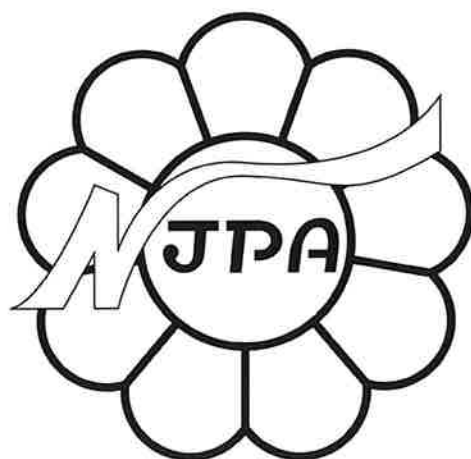


令和7年度

全国中学校体育大会実施上の
インフルエンザ・コロナウィルス感染症及び
熱中症等に関わる対応について



令和7年6月5日

(公財) 日本中学校体育連盟

インフルエンザ・コロナウィルス感染症等に関わる対応について

1 インフルエンザの主な症状について

- ・発熱（38℃以上）
- ・関節の痛み
- ・筋肉痛
- ・喉の痛み
- ・頭痛
- ・全身の倦怠感
- ・鼻水（鼻汁）または鼻づまり
- ・咳 など

2 コロナウィルス感染症の主な症状について

- ・発熱
- ・鼻水
- ・喉の痛み
- ・せきなどの呼吸器症状
- ・嗅覚異常や味覚異常 など

3 予防措置

- ・うがいの励行
- ・手洗いの励行
- ・アルコールによる手指消毒
- ・使い捨てマスク
- ・人ごみを避ける
- ・健康管理、健康状態の観察（チェック）

※ 各宿舎入り口、大会会場入り口等に手指の消毒薬を設置する。学校及び個人（参加者）の責任において、うがい、手洗い、マスクの着用 アルコール消毒など予防に努める。又、監督、引率等の先生の責任において別紙（様式1）健康観察記録により参加選手等の健康観察を行い記録する。

4 受診

健康観察により、上記1・2のような症状が確認された場合は、直ちに医療機関（指定病院）にて受診する。（指導を受ける）

5 報告（大会本部等）

医療機関において受診後、感染の有無に関わらず、別紙（様式 2）受診報告書に必要事項を明記し、大会本部等に報告する。

6 二次感染予防措置（蔓延を防ぐ）

- ・感染者及び発病者について

（大会の参加については、不参加とする。）

医療機関での診察、治療。関係機関の指導を受け、宿舍に隔離、入院、帰宅等の措置をする。（この際、監督、引率者等は、保護者、学校等に連絡する）監督、引率者等は、別紙（様式 3）罹患届出書を作成し、大会本部に提出する。

- ・濃厚接触者（感染の恐れのある者含む）について

症状が確認されない場合であっても、関係機関（医療機関）の指導、指示を受ける。大会への出場については、状況を再確認し、参加各校の責任者の責任と判断に委ねる。ただし、決して無理はさせない配慮をする。また、症状が確認された場合は、速やかに、受診、報告（上記に順じ）をする。

- ・二次感染の対応については、医療機関、行政（教育委員会）、保健所、（公財）日本中体連、実行委員会等で確認、指示、指導の徹底を図る。
- ・感染が確認された場合等、医療機関の治療、及び指導を受けた後に、安全に当該選手、関係校を帰宅させることを配慮しなければならない。
- ・学校閉鎖、学級閉鎖等の状況にある大会参加校・選手については、状況を正確に把握するために、チーム全体の健康観察を迅速かつ的確に実施し、得られた情報を踏まえ、医療機関、教育委員会、当該中学校、当該中体連等で慎重に審議し、選手、チーム等の派遣の可否を決定する。（その旨、開催地実行委員会に報告）

7 報道対応

- ・窓口の一本化を図る。（開催地実行委員長等）
- ・学校名等、公表内容については、当該校の学校長の承認と承諾を得る。
- ・あくまでも発生状況により適切に対応する。
本大会や全大会に与える影響が大きく、深刻な場合、かなり限定された場合等が考えられる。（本大会や全大会等への影響等が考えられる場合は、（公財）日本中体連等も参加する。）
- ・関係諸機関（教育委員会、（公財）日本中体連、実行委員会、競技団体等）との連携は蜜にする。

8 ノロウィルス等の心配もあるが、併せて、同様の配慮をする。

9 災害等緊急対応要項（開催地中学校体育連盟等）を作成する。（本連盟、災害等

緊急対応要項基準に準ずる)

10 諸帳簿関係 (別紙例示参照)

様式 1 健康観察記録まとめ (学校・チーム用)

様式 2 受診報告書

様式 3 インフルエンザ・コロナウイルス・ノロウイルス等罹患届出書

11 その他

- (1) 大会に参加する以前の対応については、都道府県中体連及び各教育委員会、参加各学校の配慮に委ねる。
- (2) 不参加の届け出があった場合の補充の大会出場について (団体出場と個人出場があるが)
 - ・ 大会申込み前
補充については、当該中学校体育連盟及び競技部に一任する。
 - ・ 大会申込み後
補充のための大会出場は認めない。

※ 具体的な対応について、開催地実行委員会にて協議し、確認している場合はその内容で活用ください。

※ 名称改定、コロナウイルス感染症記述掲載 (令和 5 年 3 月 3 日理事会決定)

(様式 1)

健康観察記録まとめ

学校（クラブ）名（ ）

[illegible]

※ 学校ごとに、参加者全員の健康観察をして記録する。

(様式2)

受 診 報 告 書

競 技 名		
受 診 者	氏名	男・女 (歳)
	自宅住所	〒 電話 — —
	学校名 (クラブ名)	年
	学校住所 (クラブ 住所)	〒 電話 — —
保護者名 ()		
症状発生年月日	令和 年 月 日 () 午前・午後 時 分頃	
主 な 症 状		
病 院 名		
診断の結果	1、 と診断されました。 2、 の疑いがあると診断されました。 3、 の感染はありませんでした。 4 その他 ()	
その他、医師からの の所見など		
記 載 者	監督・外部指導員 (○で囲む) その他 ()	
	氏名	男・女
	所属	
	自宅住所	〒 電話 — —

※ 住所は、都道府県名から記入して下さい。

(様式 3)

令和 年 月 日

全国中学校体育大会
実行委員会 会長 様

インフルエンザ・コロナウイルス・ノロウイルス等罹患届出書

このことについて、下記の通り届け出いたします。

大会名	全国中学校体育大会 第 回			大会
受診日時	令和 年 月 日 ()	午前・午後	時	分
病院名		学校名 (クラブ名)	(年)	
氏名	ふりがな (男・女)	保護者名		
		連絡先電話		
住所				
区分	選手・監督・引率者・外部指導員・役員・生徒役員・その他 ()			
症状の経過	(診断結果・)			
	記載責任者 () 役職 ()			

※ 住所は、都道府県名より記入して下さい。

各都道府県中学校体育連盟御中
各都道府県地域クラブ活動御中
全国中学校体育大会開催地実行委員会御中
競 技 部 長 各 位

(公財) 日本中学校体育連盟
会長 青 海 正
(公印省略)

熱中症対策のお願い

気候変動の影響は年を追うごとに深刻さをまし、7月初旬から8月中旬にかけて、ますます気温の高い日が続く気配です。このような気象状況下ではありますが、令和7年度全国中学校体育大会は、九州ブロック8県での開催に向けて準備を進めているところです。

各学校・地域クラブ活動においては、今年も熱中症対策について万全の注意をはらっていただきたいと思います。

(公財) 日本中学校体育連盟として、夏季休業中及び各大会における熱中症の対策として、下記のような取組をお願いいたします。

記

1 日々の練習において、

生徒たちに対し、小まめな水分補給、体調変化への気配り、無理に頑張るすぎないことなどの指導を徹底してほしいと思います。

また、指導者は気象情報等に注意するとともに、休憩時間の確保、水分補給への声かけ、生徒の観察など十分に行い、個々の生徒に応じた対応をお願いいたします。WBGT値によっては、活動を確実に中止する判断が重要になります。

2 大会において

これから都道府県選手権大会、ブロック大会と大きな大会が続くことになります。大会主催者として、熱中症予防の観点からの運営をお願いいたします。

(1) 選手・審判等競技役員

生命、安全を第一に守ることが基本となります。競技会場の環境や気象状況から判断し、選手・審判・競技役員等への水分補給や休憩時間の確保及び会場の換気や散水などを行う判断をお願いいたします。

(2) 観客・応援者

観客・応援者に対し、給水の呼びかけを何度も放送や案内プラカード等で行ってください。帽子やタオル等で頭・首付近を覆うことの呼びかけも必要です。また、気分が悪い場合は日陰に移動して休養することや大会本部に連絡することもアナウンスすることが必要です。

(3) 大会本部

下記のような準備・注意をお願いいたします。

①可能な限り冷房のある休憩室を確保

②WBGT値を測定する熱中症指標計を準備し、データの確認

③環境省熱中症予防情報サイト、日本スポーツ協会熱中症予防ガイドブック、大塚製薬ホームページ熱中症サイト等よりデータ収集と今後の予測の確認

④体温計、血圧計の準備

⑤補水液、スポーツドリンク等の用意

⑥可能なれば、医師・看護師・養護教諭を配置

3 全国大会における追加対策

昨年4月より、「熱中症特別警戒情報（熱中症特別警戒アラート）」の新設などを内容とする改正気候変動適応法が全面施行されました。同情報が発令された場合には、生徒の生命の安全を最優先し、屋外競技における当該日の競技を中止することといたします。